

プロが愛用する **自撮り棒**

Jidoribo-Pro

Jidoribo-Pro (自撮り棒プロ) 用 操作説明書



作成者	株式会社フジタ・ジャパン
作成日	2018年11月1日

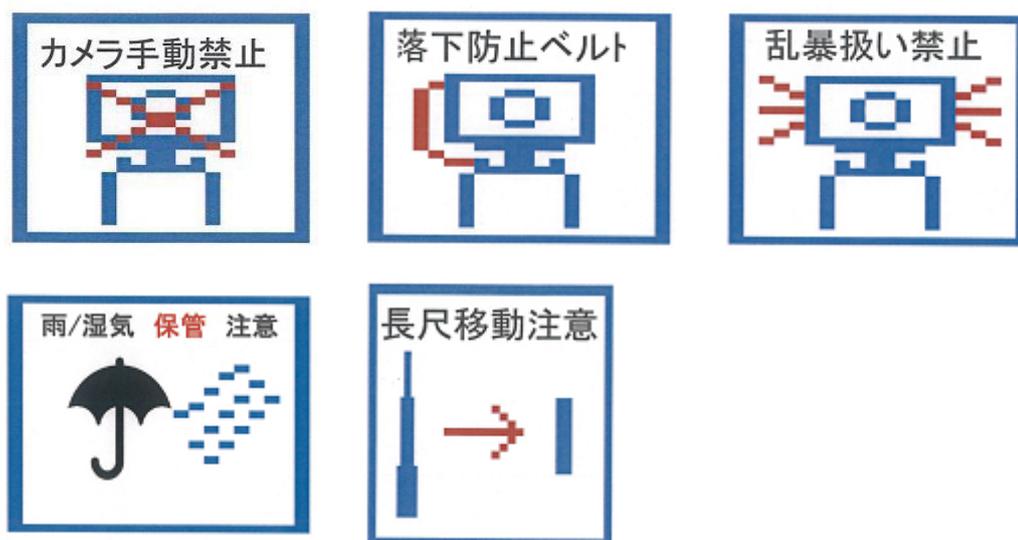
目次

《ご使用前に》.....	3
◆取り扱いについて.....	3
◆設置、取付けについて.....	3
1. 自撮り棒の構成と各部の名称	4
(1) 標準構成成品	4
(2) 横回転/微調整オプション	4
(3) お手持ち品利用.....	5
2. 標準構成成品の仕様	5
(1) カメラ仕様	5
(2) Tilt 本体	5
① 各部の名称.....	5
② 本体仕様	6
③ リモコン操作説明.....	6
④ 使用上の注意	7
(3) 伸縮ポール.....	8
① 仕様と特長.....	8
② 使用上の注意	8
3. 自撮り棒の組立.....	9
(1) 準備作業	9
(2) 自撮り棒の使用方式	9
4. 《よくあるお問合せ》.....	12

《ご使用前に》

- ご使用前にこの「操作説明書」を読んで正しくご使用下さい。
- 表示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず遵守して下さい。
- 誤った取扱いをした時に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明をします。

【注意】下記の様な使用方法や、取扱いは製品の故障・破損の原因となりますので絶対にお避け下さい。



◆取り扱いについて

- 振動や衝撃の加わる所に置かないでください。
- 機器の分解、改造はしないで下さい。
- 衝突、人的加重は避けて下さい。
- 防水構造ではありませんので、水中では使用できません。

◆設置、取付けについて

- 不安定な場所や落下の恐れのある場所には置かないでください。
- 物を上に置かないで下さい。過度に人的加重を避けて下さい。
- 水や薬品がかからない様にして下さい。
- 蒸気や湿気、湿度の高い場所、結露の起こる環境下での使用をしないで下さい。
- ほこりの多い所や、風通しの悪い所には置かないで下さい。
- 引火ガス、腐食性ガスのある所には置かないで下さい。
- 本体等はABS樹脂の為、キズつきやすく、揮発性アルコール、エーテル薬品等での 汚れ落しはお避け下さい。

1. 自撮り棒の構成と各部の名称

自撮り棒プロは標準で、カメラ+Tilt 本体+伸縮ポールで構成されています。
各部には推奨オプション製品もあります。詳しくは別冊の「製品紹介」をご覧ください。

(1) 標準構成

全体構成図	カメラ	伸縮ポール	
 <p>Tilt 本体</p> <p>カメラ</p> <p>伸縮ポール</p>	 <p>光学ズーム 12 倍 1600 万画素</p>		
	<p>チルト本体</p>		
	 <p>Tilt 機構:前後 90 度 合計 180 度動作(リモコン操作)</p>		<p>最長 8.6m 7 段</p>

(2) 横回転/微調整オプション 特許第 6450494 号

横回転がスムーズかつ微調整が可能になるオプションです。
横回転/微調整オプションは次の部品で構成されています。

1.ポール受け回転部品 (白丸部)



2.三脚部ネジ (開閉で回転)



3.回転ハンドル (回転微調整用)



(3) お手持ち品利用

iPad またはスマートフォン

2. 標準構成品の仕様

(1) カメラ仕様

有効画素数:1600 万画素

光学ズーム: 12 倍

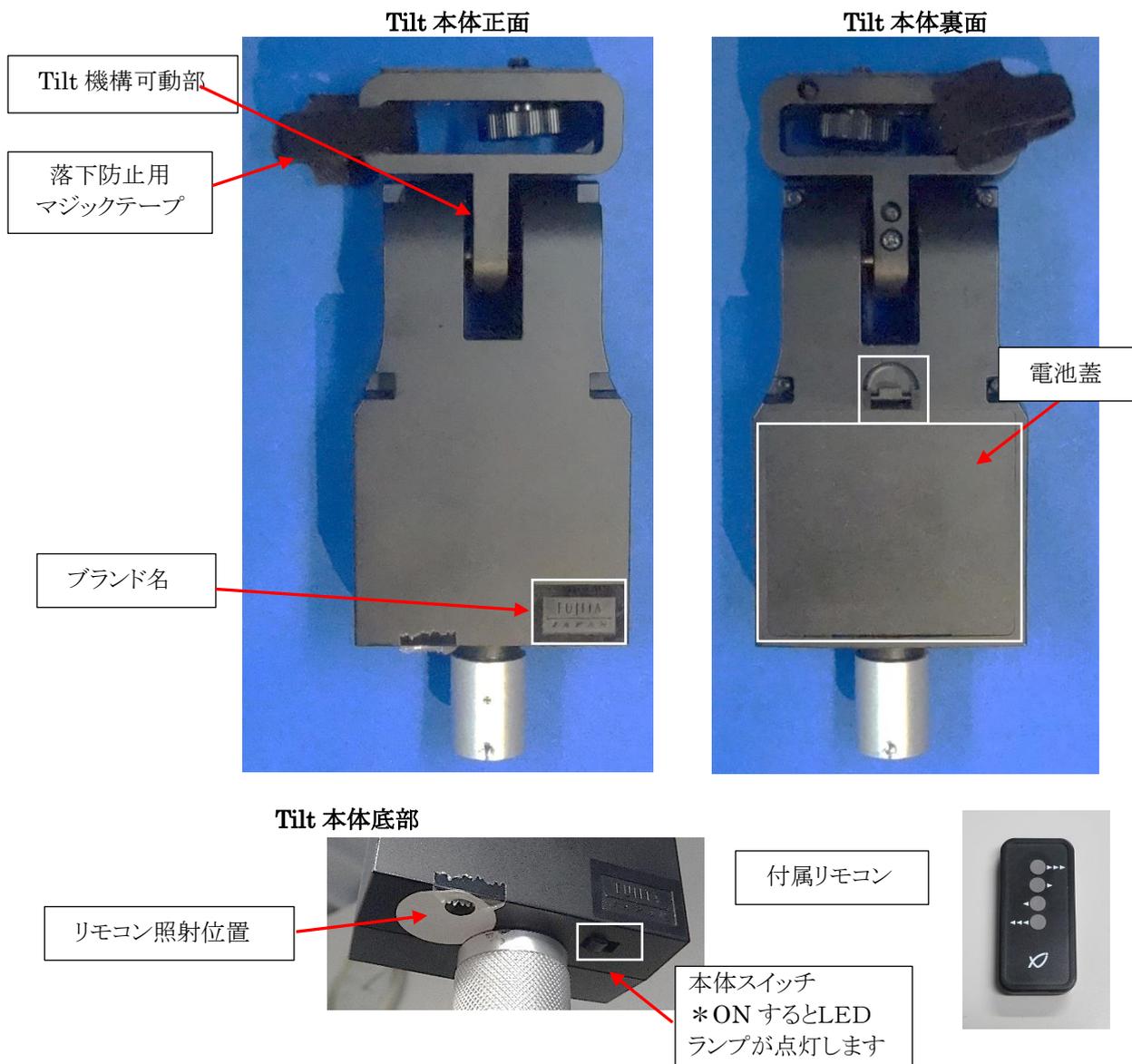
重量: (バッテリーおよびメモリーカード含む) 147g

外形・寸法: 99.7×57.6×22.4mm

(2) Tilt 本体

Tilt 機構は前後に 90 度(合わせて 180 度)回転します。手元のリモコンで、低速・高速動作が行えます。

① 各部の名称



② 本体仕様

Tilt機構:前後 90 度 合計 180 度回転

1. 高速 180 度 動作:約 48 秒 低速:約 2 分 20 秒
2. 動作温度範囲 0℃～40℃
3. 重量 Tilet 本体(電池込) 290g リモコン(電池込) 20g
4. 防水性なし
5. Tilt 本体には弊社ブランド付、貴社のブランドに変更も可能です。ご相談下さい。

★Tilt機構の動作している状態

90 度



0 度



-90 度



③ リモコン操作説明

◆押しボタン説明

- ▶▶▶ 高速 手前方向(大)移動
- ▶ 低速 手前方向微調整(ズーム時使用)
- ◀○ 低速 後方向微調整(ズーム時使用)
- ◀◀◀○ 高速 後方向(大)移動

*リモコンボタンの色は変更する場合があります。

◆受光センサー(白いシール)の方向にリモコンを向けて下さい。

*リモコンの照射は、伸縮ポールの真下より受光部(白いシール)へ照射して下さい。

*風の強い場所で使用は特に受光部方向に注意して下さい。また、風の強い場所等での使用頻度の高い場合は、【有線タイプ】が有効です。詳しくは別冊の「製品紹介」をご覧ください。



④ 使用上の注意

1. カメラ本体、及びTilt本体を乱暴に扱わないで下さい。落下や過度な衝撃も避けて下さい。
2. 電池蓋はしっかりとお閉め下さい。乱暴に扱うと電池が落下する恐れがあります。
3. カメラレンズをズーム状態で移動したり、動作したりする時は十分注意して下さい。
4. リモコン使用時は、下方向からTilt本体下部(白いシール)への垂直照射が基本です。
5. 雲台部(ブラケット)を手で押したり、曲げたりは絶対に避けて下さい。
6. 電源スイッチは、小まめにOFFにして下さい。
7. 距離が近い(3m程度)ズーム時の画面合わせは、低倍率で画面位置調整をリモコン高速、低速を利用し繰り返し行うと便利です。
 - * 推奨品のカメラで 40 倍のズーム時は特に被写体との距離をとって下さい。
8. 重量が重い機器 (PowerShot) や 40 倍のズーム時では、トルクが小さいため低速での 90 度、180 度の動作が停止、又は鈍くなる場合があります。その場合は、一旦高速にて角度を変更し、再度適した位置へ移動をお願いします。
 - * 重量が軽い機器では問題ありません。
 - * 重量は 300g 以内が最適です。
9. 標準・推奨カメラ以外のカメラをご使用の際は、重量、高さ、長さも注意して下さい。
 - * 推奨品のサイズを超えるカメラをご使用の際の故障は保証外となります。

(3) 伸縮ポール

伸縮ポールの仕様と特長は次の通りです。

① 仕様と特長

	標準品 STP-L860AJ
材質	アルミニウム
長さ(収納時)	1.58m
長さ(最長)	8.6m
重量	3.5kg
段数	7段
先端内径	φ20
三脚	あり
特長	①三脚使用で両手が使える ②傾斜地でも安定 ③適当な長さで固定可、横回転/微調整利用可 ④各段抜け防止ストッパー付



② 使用上の注意

1. 伸ばした状態での乱暴な扱いは、カメラの落下や伸縮ポールの各段が落下する恐れがあります。
2. 伸縮ポールをローレット締込む場合は各段 締込みを確認、ねじを緩めるときは両手で静かにゆっくりと行って下さい。その時は、各段の落下に注意して下さい。
*ローレットを時計回りに廻してねじ込んだり緩めたりする時は、片方の手でローレットの下を握り、もう一方の手でゆっくりとローレット部を反対方向に緩めて下さい。
3. 弊社にてセット購入の場合カメラ落下防止用マジックテープ、固定ストッパーをご用意致します。

*Tilt 本体有線タイプを購入された方は、更にコード保持ストッパーもご用意しています。

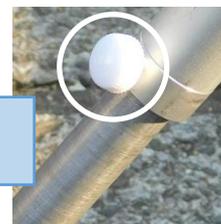
★作業の場合の基本的なお願い

強風時は作業を一旦中止して下さい。

揺れが大きい場合、作業は2人(ポール1人、検査/操作1人)でお願いします。

三脚

三脚長さ調整ネジ



3. 自撮り棒の組立

(1) 準備作業

初めてお使いになるときは、Tilt 本体とリモコンに電池を入れてください。

Tilt 本体の電池の入れ方	リモコン本体の電池の入れ方
電池蓋を外し、単三電池4本を入れてください。 ・使用時間が 3 時間以上の場合： 予備電池 1 個必要 ・使用時間が 4 時間以上の場合： 予備電池 2 個必要	リモコン本体の裏蓋を外し、ボタン電池 (CR2032) 1 個を入れてください。
	

(2) 自撮り棒の使用方法

1. カメラと Tilt 本体をネジで固定します。

ネジは写真のようにカメラを中心に固定し、バランス良い位置で留めて下さい。



左右の中心



中心からずれている

2. ネジはしっかりと固定し、更にカメラと Tilt 本体を落下防止のためマジックテープで留めて下さい。



3. Tilt 本体と伸縮ポールとの固定

① 本体ネジ部とポールネジ部を合わせます。



② 飾りネジにてしっかりと固定します。



*この時、Tilt 本体の雲台部やカメラを持って挿入しないで下さい。



4. カメラの電源 ON

5. Tilt 本体の電源 ON

6. iPad やスマートホンと Wi-Fi 接続

7. 三脚の調整

三脚 2 段目の足の長さを調節することで

① 傾斜地・段差での利用が可能です。



② 高い位置設置で、安定度が増します。



* 黒い線が振出限界位置です。

8. 伸縮ポールの固定

先頭のポールから伸ばします。
各段を固定する場合、次の操作で固定します。

- ① 右手は時計回り方向へねじ込みます。
- ② 左手は固定、又は反対方向へ廻します。

***両手でしっかりと締めこむ。**



9. 撮影開始前に Tilt 動き確認

①カメラ位置(レンズ側)は Tilt 本体(ブランド側)とします。

②◆押しボタン説明

- | | | |
|------|----|-----------------|
| ○▶▶▶ | 高速 | 手前方向(大)移動 |
| ○▶ | 低速 | 手前方向微調整(ズーム時使用) |
| ◀○ | 低速 | 後方向微調整(ズーム時使用) |
| ◀◀◀○ | 高速 | 後方向(大)移動 |

付属の専用リモコンで上下移動



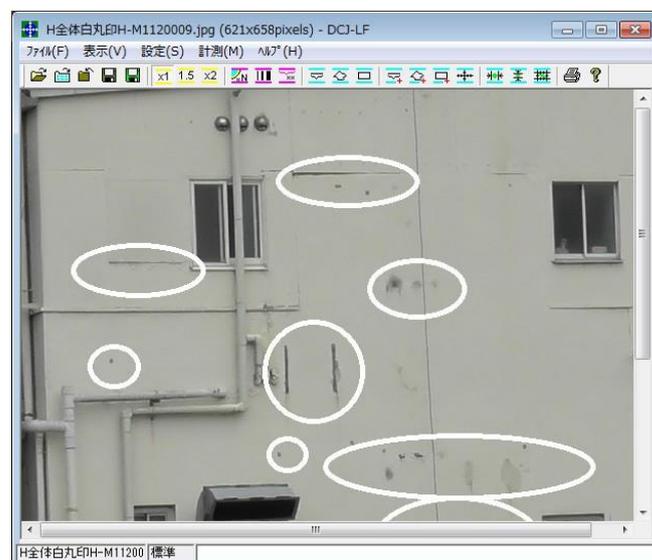
伸縮ポール 2 段目で左右移動
または、横回転/微調整オプションがある場合は、回転ハンドルで左右移動します。

iPad またはスマートフォンで写真撮影します。

10. 撮影した画像は測定ソフトで長さ・面積の計測

破損個所の長さ、フリー面積、矩形面積の計測が簡単に行えます。

使い方の詳細は「測定ソフト_操作マニュアル.pdf」をご覧ください。



4. 《よくあるお問合せ》

★iPad の電源がカメラと Wi-Fi を使用している間に切れるのは、どうしてですか？

iPad の時間設定の変更をして下さい。

下記の 2 通りの設定のどちらかで変更できます。

① iPadの設定画面→アイコン「画面表示と明るさ」をタップ

→右側の「自動ロック」時間表示を“なし”に設定

② iPadの設定画面→アイコン「一般」をタップ

→右側の「自動ロック」時間表示を“なし”に設定

★カメラの電池はどのくらい持ちますか？

通常、満充電で 2 時間程度連続使用できます。また、予備電池の使用で長時間お使いになれます。

★iPadを手を持たずに使用できる方法がありますか？

首から提げるホルダーがございます。この場合、お客様で別途購入してください。

★カメラ設定方法、アプリダウンロードは？

各カメラメーカーのホームページ、相談室にお問合せください。

Jidoribo-Pro (自撮り棒プロ) 用
操作説明書

2018 年 11 月 1 日 初版作成

発行 株式会社フジタ・ジャパン